

大村知事 大企業優遇を表明 大型開発推進

愛知県議会9月定例議会が9月21日に開会されました。

提案説明を行った大村知事は、産業空洞化対策減税基金による補助金実績がこの6年で224件、4,081億円になったと述べるとともに、MICE（国際会議や展示会・見本市、イベントなど）を核とした国際観光都市を目指すとしてカジノを含む複合型リゾート施設（IR）を推進する姿勢を示しました。

また、知事が会長を務める「リニア中央新幹線建設促進期成同盟会」の総会で「東京－大阪」間の早期全線整備実現を決議したと報告しました。

県民要求の実現

子どもの貧困対策 予算化 愛知学園の小中学校設置

9月議会には補正予算、条例改正8件、その他議案12件が提案されました。

補正予算は全体で44億7500万円です。

道路の維持管理（道路の舗装・カラー化）に20億円、愛知環状鉄道のIC化に7700万円、新体育館の検討調査費2000万円などとともに、子どもの貧困対策に900万円、愛知学園の小中学校設置に6100万円が提案されました。この2つは県議団も要求して取り組んできたものが実現されたものです。

その他の議案では、国際展示場の契約金額の変更として6億円の増額が提案されています。これは6月議会で補正予算が提案されて共産党は反対したものです。

中小商工業者の要求実現を！ 愛商連の県との話し合いに参加

愛知県商工団体連合会の愛知県との話し合いに県議団が参加しました。

中小企業予算が増えずに大企業向けに多額の予算が組まれているとの指摘に対して県は、「中小企業施策は重要、きめ細かな施策をやっている」と述べました。

滞納整理機構による差押えの予告通知については、機構の県職員を集めたリーダー会議が税務課主催で行われていることが判明して問題になりました。

閉会にあたり、わしの県議は「県の財政はリニア、ジェット、FCVなど大企業向けに特化している。中小業者の要望に切実に対応してほしい」と強く訴えました。



あいさつする わしの議員



9月29日(金)一般質問

11時頃(予定)

しもおく奈歩議員 登壇



* 他の議員の質問の進み具合により時間は変更されることもあります。

是非傍聴にお越しく下さい

質問後の休憩時間に傍聴者の皆様と議員

との懇談会を行います。5階会議室7

傍聴と合わせてご参加ください。

